

概要報告書

2018 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	NPO法人 全国不登校新聞社
事業名	不登校・いじめの専門紙『不登校新聞』の発行と無償送付事業
<p>本事業は、不登校に悩む当事者・親にむけた新聞『不登校新聞』を発行する事業です。小・中・高校の不登校児童生徒の数は約 20 万人。全国に不登校に苦しむ家族はいますが、なかでも地方在住者は情報にアクセスしづらい状況があります。そこで本助成により、全国の公共施設 100 カ所に無償で新聞を送付し、幅広い層に情報を届ける取り組みをしています。</p> <p>『不登校新聞』の特徴は「当事者視点」です。親・専門家・教師・医者などと違い、当事者の声は、まだまだ社会に少ないと感じています。そこで弊社では、不登校の経験者からなる「ボランティア記者」を組織し、自身の体験や経験談を書いてもらっています。また、月に一度編集会議を行ない、ボランティア記者同士で企画を立案し取材を行なうなど、自らの問題意識を社会に問う活動を行っています。彼らの活動のための資金も、本助成から使用いたしました。</p> <p>今後も不登校に悩む方が安心して、前をむいて歩いていけるよう、情報発信に努めていきたいと考えています。</p>	
	
編集会議のようす	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。